



第5回九州ミッドアマチュア選手権競技

競技報告 (2015/10. 21-22)

写真と記事 : M. Kikutake

通算6アンダー 138で初タイトル 平井皇太 (奄美) が逆転で初優勝



第5回九州ミッドアマチュア選手権競技は10月21、22日の2日間、福岡県の筑紫野カントリークラブ(6902ヤ、パー72)で行われ、通算6アンダー、138をマークした32歳の平井皇太(奄美)が初優勝した。

平井は初日、1オーバー、73の4位タイだったが、最終日に猛チャージ。晴れたもの時おり7～8mの強い風が吹き付ける中、ボギーなしの1イーグル、5バーディーの65と驚異的なスコアで回り、逆転して勝利をつかんだ。

平井は自身初めての連盟競技優勝。この日マークした65のスコアは、吉田貞行(アマ)が1989年に記録した68を26年ぶりに塗り替えるコースレコードだった。

2位には54歳のベテラン大倉清(大博多)が意地

今大会から、参加資格の年齢を従来の30歳から25歳(12月末現在)に引き上げて開かれ、各県地区予選を通過した137人(欠場6人)が参加した。

初日は1アンダー、71の福永勝男(ゴールデンパーム、47歳)と本田雅稔(不知火、48歳)の2人がトップを並走。これを1打差で高村博臣(熊本南、31歳)、さらに1打差4位タイで平井と山下大介(長崎、24歳)が追う展開。以下も合原豊(麻生飯塚、43歳)、2012年九州シニア優勝の58歳ベテラン井上勤昭(西戸崎シーサイド)、荒川英二(福岡雷山、44歳)ら実力者が控え、首位と5打差に22人という激しい優勝争いが予想された。この日で予選が終わり、10オーバーの82、78位タイまでの89人が最終日の決勝ラウンドへ進出した

ところが、その最終日、風と速いグリーンに他のスコアが伸びない中で平井が飛び出し、2位の大倉清(大博多)に10打差をつける離れ業をやった。54歳の大倉はアマで2005年九州オープンを制した実力者。この日も5バーディー、2ボギーの69で回り、初日79の39位タイから急浮上して追撃したが、平井をとらえることができなかった。

通算7オーバー、151の3位タイは今村大志郎(麻生飯塚、36歳)、合原、山下の3人。さらに1打差、152の6位に高村。過去2度優勝の荒川は通算11オーバー、155の15位タイ。前回優勝の竹本健太(北九州、33歳)は14オーバーで28位タイだった。

日本ミッドアマへは11人が出場権を獲得

この試合の結果、第20回日本ミッドアマチュア選手権(11月18～20日・千葉県、紫CCすみれコース)へは7位タイまでの9人と、10位タイの5人のうち最終日成績上位の2人、計11人(シード選手を含む)が出場権を獲得した。



平井皇太

風を味方に、逆転 10 打差と圧勝 故障（椎間板ヘルニア）にも打ち勝っての栄冠

昼前から風が出て、時おり強く吹きつける。多くの選手がこの風と、公式競技特有の速いグリーンに泣かされた。そんな中、平井皇太は午前中の 32 に続いて、午後からの 9 ホールも 33 と驚異的な 60 台で回り、優勝を勝ち取った。

「風？ 奄美の（強く、重たい）風に慣れてますからね。まったく気にはなりませんでした」と平井だった。出だしの 1、

2 番で連続バーディーと好スタート。9 番（パー 5）ではグリーン周りからのアプローチを「完璧」というショットでチップイン・イーグル。午後からも、12、13、16 番とバーディーを重ねた。普段は苦手としているパッティングの、それもスライスラインを決めてのものだったから、勝因に「うまくいったパッティング」を上げるのも当然か。

実は、それよりも何よりも、「歩けるかどうか心配だった。2 日間、ラウンドできてよかった」とホッとした表情を見せた平井でもあった。

聞いてみると、6 年前に痛めていた椎間板ヘルニアが昨秋、悪化。激痛に寝返りも打てず、右脚には痺れが走った。3 か月間、ベッドで寝たきりの療養。動けるようになると激痛と闘いながら股関節を柔らかくしたりして、身体の手入れを行ってきた。

「腰の状態もだいぶ良くなったから」。昨年の日本ミッドアマ選手権 6 位タイで今年のシード権を持っており、大会出場を決めたが、10 か月ぶりに握ったクラブで、練習ラウンドを含め今年 7 ラウンド目での栄冠。そんな平井の病み上がりとは思えない猛チャージには驚かされた。

ゴルフは「兄の影響で 13 歳から始めた」。中学を出ると、東京の日体荏原高に進学。卒業後に奄美に戻り、現在は父が経営する不動産関係の会社の専務という立場だ。競技での実績は、中学時代の日本ジュニアで 19 位、高校時代は 35 位と華々しい成果を残しているわけではない。奄美に戻ってからは 2010 年九州オープン 4 位タイ、昨年の九州ミッドア

マ 5 位があり、中堅選手として活動してきた。

自身にとっての初めてのタイトル。「フルショットがまだ怖い」という平井で、「まさか、自分が優勝できるとは」と言ったが、「日本ミッドでも勝てるように頑張る」。そして、来季からの目標は、「2010 年以来 2 度目となる日本オープンに出たい。テレビで見る選手たちとあのピリピリした雰囲気の中でゴルフをしたい」とちょっと照れながら話してくれた。

